

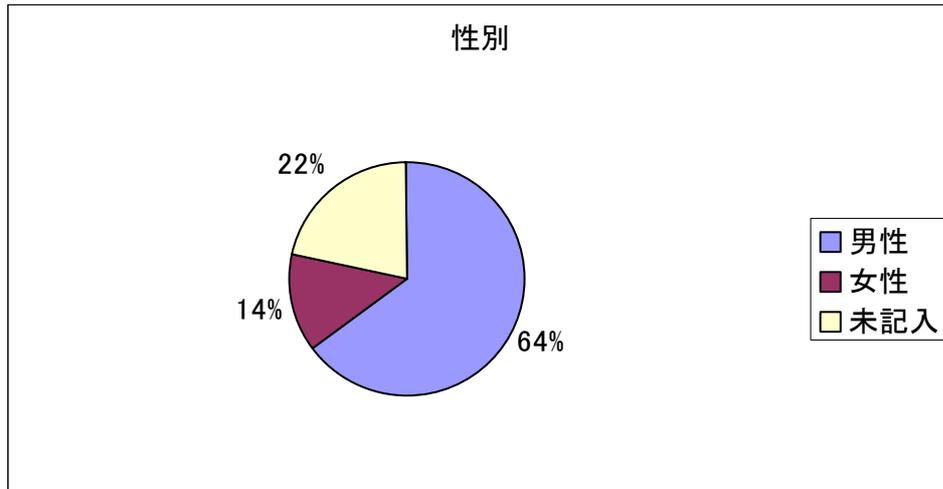
自治基本条例施行記念フォーラム アンケート結果

参加者数 157人

アンケート回収数 51件

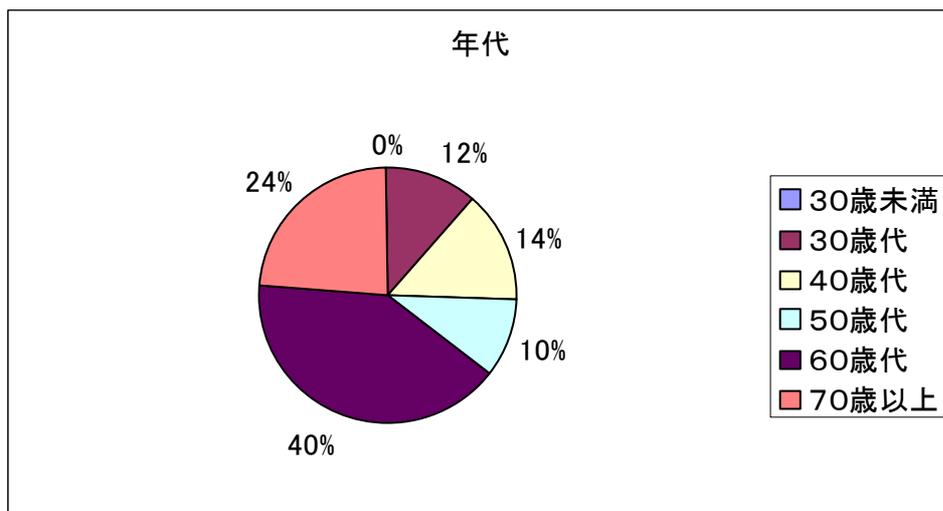
性別 (人)

| 男性 | 女性 | 未記入 |
|----|----|-----|
| 33 | 7 | 11 |



年代 (人)

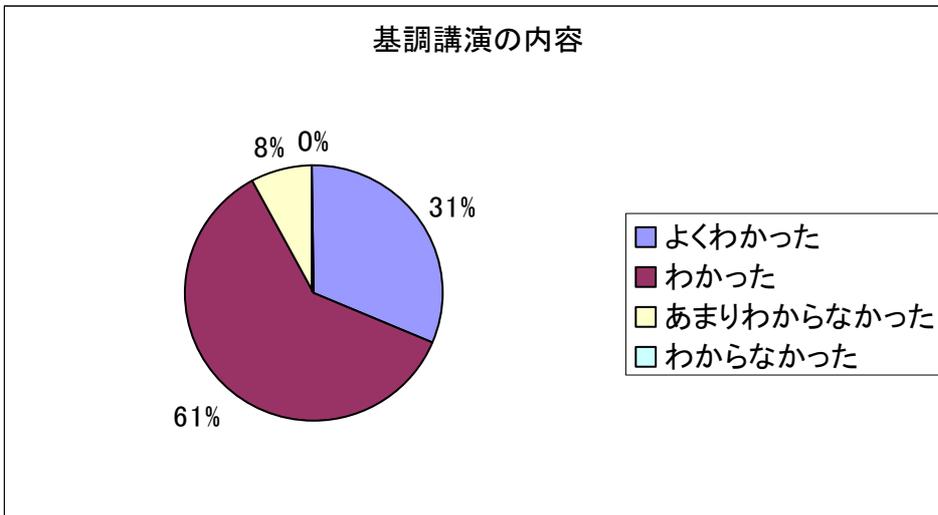
| 30歳未満 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳以上 |
|-------|------|------|------|------|-------|
| 0 | 6 | 7 | 5 | 21 | 12 |



【問1】 基調講演の内容はいかがでしたか？

(人)

| よくわかった | わかった | あまりわからなかった | わからなかった |
|--------|------|------------|---------|
| 16 | 31 | 4 | 0 |



自由意見

- ・ 住民の要望をうまく行政に伝えていくには、議員だけでなく町内会組織も住民の声を拾い上げていく必要がある。
- ・ やさしく語りかけてくるような講演でした。
- ・ 条例をつくることに一生懸命になる自治体が多いが、つくったものをいかに運用していくことの重要性がわかった。市民、行政、議会がこれからどう活動していくかにかかっている。
- ・ 実体がないのでわかりにくい。話は難しくなされていなかったが、「安城市自治基本条例」は少し市長に甘い気がした。例えば、市長は研さんに努めないのか？
- ・ 専門家からのわかりやすい説明であったと思いました。
- ・ 「第9条の3 応分の負担」が納得できない。市民税を納めている。
- ・ 「会議の自治さえできなかった」という委員の反省の弁が印象に残りました。
- ・ 市民や団体の関わりがわかりにくい。具体的な例題が必要。
- ・ 歴史的にも具体的でよくわかりました。
- ・ 意識の高い人には理解が進んだと思いますが、意識の低い人は会場にも来ないレベルと思います。
- ・ 安城のまちとしてどうあるべきかが欲しかった。あるべき姿から安城のまちはどの位置にあるのか。自治基本条例が本当に受け入れられるまちなのか。
- ・ 市民が参加する方法と場所がはっきりしていない。
- ・ 図で説明してくれたのがわかりやすかった。研究者のお話は説得力があり、とてもためになりました。
- ・ 町内のボランティアグループを多く持った町内かな。
- ・ 本条例によってまちづくりをするとのことであるが、評価を単年度ごとに実施して、PDCA

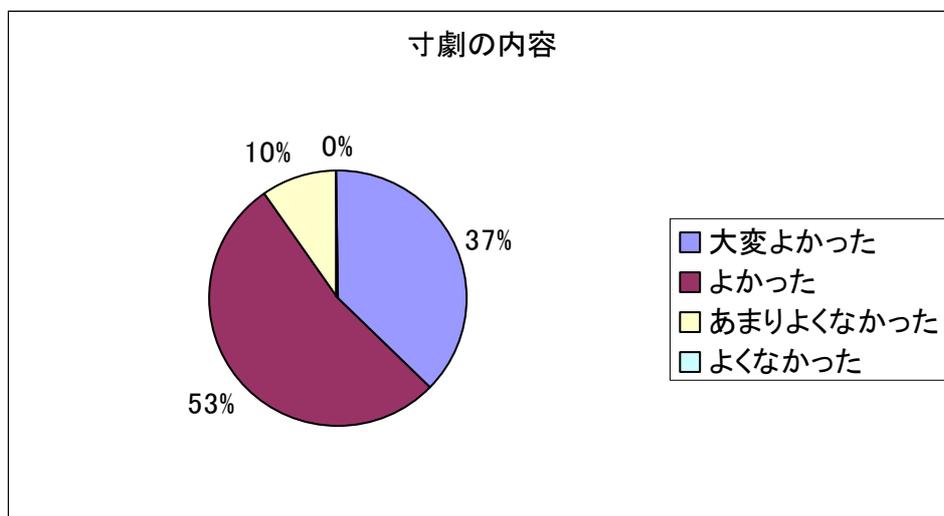
を回すことが必要ではないでしょうか。

- ・ 自治基本条例の意味がよく理解できた。基本にもどって地域での協力できる関係づくりの大切さがよくわかった。
- ・ 自治基本条例に関する会に出席するのは初めて。単語としてはよくわかったが、全体を考えるとあやしいと思う。
- ・ 自治基本条例の内容はよくわかったが、できれば安城市の自治基本条例についてや、今後の安城市が発展するためのヒントなどが具体的に聞けるとよかった。
- ・ 参加、協働、連携についてよくわかった。
- ・ 当然なことを皆が忘れていたことをわかりやすく話していただいた。
- ・ 条例制定はできても如何に心が入っていくかが問題。各々の市民から議員、職員が常に念頭におくことが大切。
- ・ 地域全体（住民）への地域活動への理解、参加は難しい。
- ・ わかりやすい講演でした。
- ・ 市民一人ひとりの積極的な関わりが条例を生かすことになる。この条例を押し入れにしまい込むことのないよう大切に育てたい。

【問2】 寸劇の内容はいかがでしたか？

(人)

| 大変よかった | よかった | あまりよくなかった | よくなかった |
|--------|------|-----------|--------|
| 19 | 27 | 5 | 0 |



自由意見

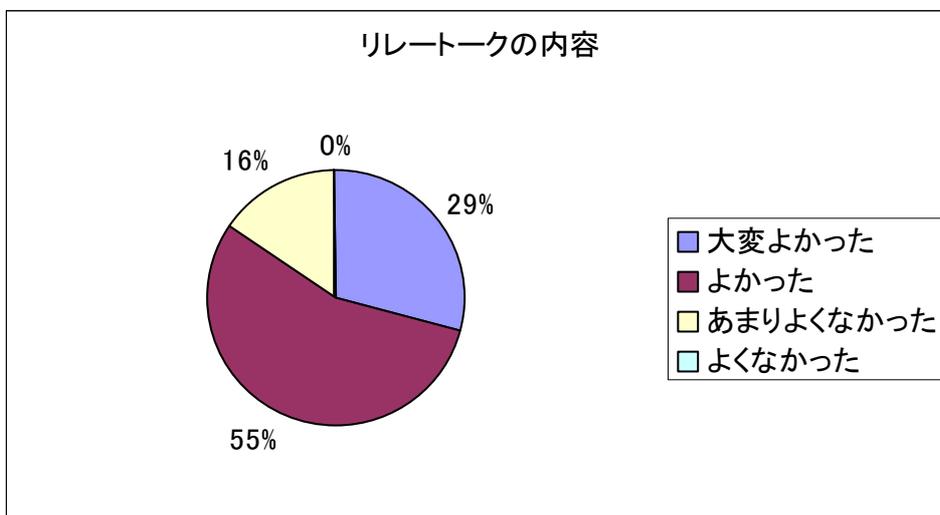
- ・ 玄人らしくないのが良かった。
- ・ わかりやすい中身、内容がとても大変よかった。
- ・ 熱演
- ・ 一生懸命やっていたよかった。中にするどい指摘もあり、わかりやすかった。
- ・ つかえながらだが面白かった。市長が帰ってしまっていて残念。短時間なので息抜きになった（もっと短くてもいいくらい）。「口、金、汗を出せ」などうまく説明。

- ・ 市民の立場からとてもわかりやすい内容でした。
- ・ もう少し劇らしくやってほしかった。
- ・ 「あんき会」のパワーをいただきました。
- ・ 自治基本条例の大枠がわかった。
- ・ 手づくり感がよかったですね！具体的でよくまとまっていました。
- ・ あまり練習しすぎていない感じですが、内容は素晴らしいものでした。
- ・ 会話的にはよかったです。具体性はあった。
- ・ もっと現実な事例としてはどうか。男性、女性、学生等を考えてみると少し違うものがある。
- ・ たどたどしい感じが温かみを感じました。自分たちでがんばろうという気持ちが大事だと思いました。
- ・ コンパクトにまとめたところがよい。
- ・ 行政や市民が勝手にやっていること等のまちづくりをつぶすテーマも必要ではなかったでしょうか？良いまちづくりにつなげる問答を今後も作って行ってください。
- ・ 参加し、汗を流し、充実感と改善が形であらわれるとよい。
- ・ 楽しくお聞きしました。
- ・ 市民が不慣れながらも努力して啓発を行っている姿がよい。何度もやることによって、もっとスムーズに上手に役回りが演じられるようになることを期待します。
- ・ わかり易かった。
- ・ 素人らしく朴とつとした寸劇で大変よかったですし、理解もできた。
- ・ このように皆が考えるように努力が必要。
- ・ 手づくり感があり、わかりやすく条例と生活とのつながりが市民目線でよく理解できた。

【問3】 リレートークの内容はいかがでしたか？

(人)

| 大変よかった | よかった | あまりよくなかった | よくなかった |
|--------|------|-----------|--------|
| 15 | 28 | 8 | 0 |



自由意見

- ・ 変化があり、個性があり、楽しく聞けた。
- ・ もう少し個人の立場での活動密度が知りたかった。
- ・ 一人ひとりの話はよかったが、何かテーマ性を持ったリレートークなど、もう少し工夫があれば、さらに良かったと思います。
- ・ 出席者に女性が少なく残念。リレートークには2人入っておられるが、仲間を呼んできてもらえるとよいのではないか。全体的に身近な感じはしなかった。若い人が話し手になっているのは良いことかもしれない。写真等がもっと多くて視覚に訴えても見ていて楽しいかもと思った。
- ・ リレートークは初めての経験でした。
- ・ 一言「自分でがんばる」が気に入りました。
- ・ 各々何を主張したいのかわからないのと何のためのリレートークなのかわからない。主旨がいまいち。
- ・ 内容が各自の活動のみで、だから何？という感想。条例の実践につながるようなトークを期待していたので。
- ・ こういう会があったのかと思いました。残念と思われるかもしれませんが、他の人も同じレベルの市民が多いです。組織的にやるのではなく、皆がつながっていく方向でいかないと。
- ・ リレートークのジャンルの分け方が良い。
- ・ それぞれの立場の人たちが合流し、目的に向かう。自分でやるではダメで、数多くの方が参加して色々な意見交換をやることの方が最も重要で、最後は合流して、目的に向かうこと。
- ・ タッチして次につなげるという演出がとても素敵だと思いました。それぞれの方のお話も楽しかったです。「自分がやる」ことが、みんなに伝わり、動ける市民になりたいですね。
- ・ まちづくりと言いながら、本人の自慢話のように思われる人もいます。
- ・ 内容はともかく、企画がよかった。
- ・ 行政の方々の参加も必要ではないか。市公務員の良いまちづくりのための技術レベルを高くすることが必要ではないでしょうか。
- ・ 様々な意見が参考になった。安城を住みやすいまちにするために協力していきたいと思った。
- ・ ポイントはなにか？一人ひとりの考えはよくわかった。
- ・ のだゆきさんが上手に全体をまとめてくれたが、「リレートーク」しているつながり性がなかったし、トークする人と自治基本条例との関わりや実現したいものなど不明瞭だった。
- ・ 条例を理解させるのには少し主旨が外れているのでは。私が理解していないのかな。
- ・ 自治基本条例に関わった方々のトークの中で、制定の思いが良く伝わる。
- ・ 協働とは何か？段上に上がったスピーカーの方々の活動を聞いて、自分にも何かできそうな気がした。何よりもまずは“自分がガンバル！”ことが大切。

【問4】今後、まちづくりに関して「こういう講座・講演会を開いて欲しい」、「〇〇先生の話を知りたい」といった提案などがありましたら、自由にご記入ください。

- ・ 松下政経塾出身の政治家（落選している人が適当）、身近な政治家の話。
- ・ 現在の町内会と子ども会の入会率を上げるための講座。
- ・ 現職の国会議員による「まちづくり討論会」。
- ・ 市でのアンテナ、電波を広げ、参考事例を市民に情報提供願います。
- ・ 偉い先生を呼ぶよりも、あんき会の「横丁のものしりご隠居さんのまちづくり問答」の寸劇を市内各所で地道にやって伝えていったらどうだろうか。
- ・ 後期高齢者、特に老人の一人暮らし、老夫婦への支援の仕方について町内会はどうしたら良いのか。
- ・ 自治基本条例に対して町内会としての取組みを積極的にご指導いただくことを希望したい。
- ・ 市民が地元の町や安城市に愛着がわくような講座。中学校単位で地元について問題を出し合ったり、話し合ったりできる会（飲食もある意見交換会でもいいかも）。
- ・ 現在、犯罪等が増加傾向にあるので、安心・安全なまちづくりのための施策的な講座・講演。
- ・ 施行から一年後の自治基本条例フォーラム。

その他

- ・ 市（町）民に理解させる手段（資料・情報）を与えて欲しい。
- ・ 条例の活用が最も大切であるため、関係者のみの理解ではなく数多くの人に知って、参加、協働してもらうことが必要。特に女性、学生、子ども、高齢者、サラリーマン。条例づくりよりも、その後の方が難しい。
- ・ 意見が申し出できるルール化をしてほしい。福祉センター、公民館、図書館に投書箱を設けては。
- ・ 思っていた以上にしっかりとした内容のフォーラムで、あんき会のメンバーの気持ちは伝わったと思います。お疲れさまでした。素敵な会でした。
- ・ 町内会での清掃活動の機会をつくるとよいと思う。
- ・ 自分でがんばる。人まかせ、他力本願ではいけない。自分たちのまちはみんなで協働でつくりあげる技をみがかなければならない。
- ・ 条例を徹底的にPRせよ。まちづくりは「共同」でなく心と力を合わせる「協働」が必要だ。
- ・ 市議員がいるのに市民参加を進める理由は何か不明だ。
- ・ 抽象的なことが多くわからないことがありましたが、この様な話が数多くあれば、だんだん良くなっていくと思います。高齢になり独り暮らしなので行政にお世話になることが多くなる。自分でやることは難しいですね。
- ・ 参加者はほとんど関係者だけと感じられた。私は地域（自治会）の役員予定者です。回覧板、市の広報で知りました。
- ・ あんき会の企画・運営おみごと！！お疲れさまでした。今後の活躍を期待しています。